

第137回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当座預金	受取手形	売掛金
備	品	備品減価償却累計額	未収入金	仮払金
支払手形		買掛金	未払金	前受金
商品券		借入金	当座借越	仮受金
引出金		資本金	売上	固定資産売却益
雑益		支払手数料	租税公課	消耗品費
通信費		固定資産売却損	手形売却損	雑損

- 先月末に受け取った本田商店振出しの小切手 ¥ 600,000 を当座預金に預け入れた。現在、当座預金の口座残高は ¥ 500,000 の借越しとなっている。なお、当店は当座預金勘定と当座借越勘定の2勘定制を採っている。
- 収入印紙 ¥ 1,800 と郵便切手 ¥ 8,200 を近隣の郵便局で購入し、代金は現金で支払った。
- 備品（取得原価：¥ 900,000、残存価額：ゼロ、耐用年数：6年、償却方法：定額法、記帳方法：間接法）を5年間使用してきたが、6年目の期首に ¥ 200,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。
- 掛け代金の回収として受け取った、得意先長友商店振出し、当店あての約束手形 ¥ 300,000 を取引銀行で割引き、割引料 ¥ 2,000 を差し引いた手取金が当店の当座預金口座に振り込まれた。
- 従業員が出張から戻り、さきの当座預金口座への ¥ 150,000 の入金、得意先香川商店から受け取った内金 ¥ 40,000 および得意先遠藤商店からの売掛金 ¥ 110,000 の回収によるものと判明した。なお、入金時には内容不明の入金として処理している。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	当座借越	500,000	現金	600,000
	当座預金	100,000		
2	租税公課	1,800	現金	10,000
	通信費	8,200		
3	備品減価償却累計額	750,000	備品	900,000
	未収入金	200,000		
4	当座預金	298,000	受取手形	300,000
	手形売却損	2,000		
5	仮受金	150,000	前受金	40,000
			売掛金	110,000